

2019年7月1日

■ 取材のご案内 ■

国連が「2050年にはAMRで年1000万人が死亡する事態」と警告

厚生労働省委託事業

迫りくる「薬剤耐性」の危機を知る

「AMR対策臨床セミナー in 広島」

県内の医師、薬剤師、看護師 他 医療従事者 約120名が参加

日 時 ■ 2019年7月6日(土) 15:00 開演

(開場 14:30 終了 18:00) ※途中入退出可

会 場 ■ TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前3F ホール3A

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター

薬剤耐性菌の増加が世界的に問題となっており、わが国もこれに取り組むため2016年に「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン」が策定されました。AMR臨床リファレンスセンターでは、AMR対策に関する啓発活動の一環として、医師、薬剤師をはじめとする医療従事者を対象に、全国各地で「AMR対策臨床セミナー」を開催しています。

今回、広島県で初めての開催となる本セミナーでは、薬剤耐性問題を知っていただき、日本での薬剤耐性菌の状況、抗菌薬の適正使用、薬剤耐性菌に対する感染対策などをふまえ、身近なところから AMR 対策に取り組めるよう解説いたします。この機会に報道関係の皆さまにもご取材をいただき、メディアを通じて広く「薬剤耐性」を知る機会をつくっていただければ幸いです。

ご多忙とは存じますが、ぜひご来場を賜りますようお願い申し上げます。

AMR対策の必要性 ～抗菌薬(抗生物質)は不適切な使用により、本当に必要な時に効果が低くなる～

抗菌薬(抗生物質)は細菌が増えるのを抑えたり、殺したりする薬です。しかし、細菌もさまざまな手段を使って生き延びようとします。本来ならば効くはずの薬が効かなくなること、**「薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial resistance)」**といいます。

2019年4月29日、国連は抗生物質が効きにくい薬剤耐性菌が世界的に増加し、危機的状況にあるとして**各国に対策を勧告***しています。日本では、外来での抗菌薬使用が9割以上を占めており、外来診療で抗菌薬の適正使用を推進することが重要です。

* <https://news.un.org/en/story/2019/04/1037471>
No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections
Report to the Secretary-General of the United Nations April 2019

薬剤耐性(AMR)情報サイト

AMRかしこく 検索

<http://amr.ncgm.go.jp/>



返信先 ▶ AMRCRC広報事務局
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛

FAX返信番号 ▶ 03-3571-5380

厚生労働省委託事業

「AMR対策臨床セミナー in 広島」

日 時 ■ 2019年7月6日(土) 15:00 開演 (開場 14:30 終了 18:00)

会 場 ■ TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前3F ホール3A

講演プログラム

「薬剤耐性(AMR)の現状」 15:00～16:00

具 芳明

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長

「抗菌薬の適正使用」 16:00～17:00

谷口 智宏

県立広島病院 総合診療科 部長

「感染対策」 17:00～18:00

森 美奈子

広島大学病院 感染制御部 副部長、看護師長

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、7月4日(木)までにご返信ください。

ご出欠	☐ ご出席	☐ ご欠席
貴社名		
貴メディア名		
貴部署名	他 名	
ご芳名	☐ スチール	☐ ムービー ☐ 無し
撮影機材	TEL e-mail	FAX
ご連絡先		
ご要望等		

会場

広島県広島市南区大須賀町13-9
ベルヴエオフィス広島 TEL:082-909-2609

アクセス

JR山陽本線、JR芸備線、JR呉線、JR可部線
広島駅 南口 徒歩2分
広島電鉄 広島駅 徒歩3分

* 近隣に、TKPの会議室 広島駅前大橋、広島駅北口などがありますので、お間違えのないようご注意ください。

